

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和2年度 要望・回答

伊豆箱根鉄道

番号	要望事項	要望内容	回答
I 利便性向上			
1 駅施設等の整備			
(1)	高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の整備等	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。</p> <p>また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通機関特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備に当たっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。</p> <p>①転落防止 伊豆箱根鉄道大雄山線の小田原駅ホームにおける内方線付き点状ブロックの整備については、令和元年度の要望に対する回答において、ホーム上屋の耐震工事にあわせ、令和5年度に整備を実施する方向で検討すると回答いただいたところですが、早期整備に係る検討を行うとともに、確実な実施について要望いたします。</p> <p>また、ホームと車両との段差及びすき間の解消につきましても、可能な限りの取り組みをお願いします。</p> <p>加えて、国の駅ホームにおける安全性向上のための検討会(中間とりまとめ)では、10万人未満の駅についても、駅の状況等を勘案したうえで、整備が必要と認められる場合は、整備を行う旨明示されていることから、転落防止柵の設置についてもあわせて検討いただくよう要望いたします。</p>	<p>弊社沿線において、ご高齢のお客さま対応のサービス向上が最も重要な課題と捉えております。今後、ますます高齢化社会が進むことを考えると、バリアフリー化等による安全確保と利便性向上は必要であり、沿線地域の生活路線として期待されている弊社としましても努力しなければと考えております。</p> <p>整備に向けては、県、市にもご理解をいただきご協力をいただきながら推進していきたいと考えております。</p> <p>① 小田原駅ホームにおける内方線付き点状ブロックの整備につきましては令和5年度、ホーム上屋の耐震工事は令和6年度に実施する方向で検討しております。</p> <p>また、ホームと車両との段差及びすき間につきましては、解消するのは非常に難しく、今すぐに整備できる問題ではありませんが、県、市にもご理解をいただき、ご協力をいただきながら推進していきたいと考えております。</p> <p>尚、小田原駅の未設置であったトイレ側の転落防止柵は、令和3年2月に設置が完了しました。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
		<p>②エレベーター、エスカレーター、AED等 AEDにつきまして、小田原駅・大雄山駅及び相模沼田駅に設置いただいておりますが、引き続き現在未設置の五百羅漢駅、和田河原駅への設置を要望いたします。また、AEDを的確に使用するための駅員等への普通救命講習受講の促進についても引き続き要望いたします。</p> <p>井細田駅のバリアフリー化施設(スロープの設置)の整備については、平成30年度及び令和元年度の要望に対する回答において、貴社単独での整備は困難との回答があったところですが、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針において、利用者数3,000人以上の駅については、令和2年度中の整備が求められていることから、令和2年度中の確実な整備を要望いたします。なお、当該年度中の整備が困難である場合は、具体的な整備時期を明示していただくよう要望いたします。</p> <p>また、相模沼田駅のバリアフリー化施設については、令和元年度の要望に対する回答において、乗降人員が3,000人(平成30年度実績)を下回っているため、現時点での実施予定はないとの回答があったところですが、相模沼田駅のある岡本地区においては、他地区と比較して高齢者の増加が進んでいることから、高齢者や障害者の方が乗降しやすい整備が行われるよう、引き続き要望いたします。</p> <p>③案内表示 駅構内における誘導ブロック・音響音声案内や点字板等の設置の推進を引き続き要望いたします。</p> <p>④人員対応 高齢者、障害者等が利用しやすいよう、ラッシュ時などにおける改札・精算窓口の駅職員の増員による必要な駅員の配置とともに、スロープ等利用時の駅職員による配慮のほか、利用者への声かけなどの心のバリアフリーの啓発、車内における情報提供の充実を引き続き要望いたします。</p>	<p>② AED等につきましては、現在未設置の五百羅漢駅、和田河原駅への導入に向けて検討してまいります。また、AEDの取扱いや普通救命講習の受講につきましては、引き続き積極的に進めてまいります。</p> <p>井細田駅のバリアフリー化施設(スロープの設置)の整備は単独での実施は困難ではありますが、引き続き検討課題とさせていただきます。</p> <p>相模沼田駅のバリアフリー化施設については乗降人員が3,000人(2019年度実績)を下回っているため、現時点での実施予定はございません。</p> <p>③ 案内表示等、駅施設の整備に関しましては、多言語表示を整備しているところですが、音響音声案内や点字版等の設置につきましては引き続き検討してまいります。</p> <p>④ 人員対応につきましては、弊社では業務の効率化を進めるなか、駅員の増員は非常に困難な状況ではありますが、心のバリアフリーの啓発活動や列車内での情報提供につきまして、可能な限り取り組んでまいります。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
II その他			
(1)	自転車等駐車場用地の確保及び駅周辺放置自転車対策への協力	鉄道利用者の利便性の向上、交通安全、さらに駅周辺の良好な環境づくりのため、今後とも自転車等駐車場用地を確保されるよう要望いたします。 また、引き続き、放置自転車対策の推進にご協力くださるよう要望いたします。	弊社では、自転車を利用されているお客さまは重要であると考えており、駅周辺の社有地を駐輪場用地として約950台分提供しております。 また、放置自転車や自転車盗難防止として、有料化への対応も引き続き検討しているところでございます。 今後も弊社は、放置自転車対策に協力し、地域の安全・安心の拡充向上に努めてまいります。